

常磐毎日新聞

定価一圓五角
 零售五錢
 印刷所 常磐毎日新聞印刷株式会社
 電話 六三〇〇

牢獄と蜘蛛と こうろぎ 六

白土 五郎

蜘蛛 公

右端の蜘蛛公の休まず絶えず働いたために生れて来たと言ふことをぼめるかばりに吾々はその愚を哀れまなければならぬ。左端の蜘蛛公がもし此處が乃公の所有所だと自分で定めて何處からか蜘蛛を肩ふて来て、その蜘蛛に網を張らせ、獲物をとらせて、そのウツマイをはねて寝てゐて食ふやうなことがあつたら俺は踏み殺してやる、幸に蜘蛛の社會にはそんなことはない。

昨夜から右端の蜘蛛公の處に一匹の仲間がどこからとなくやつて来た、体の大きい奴だ、彼は機敏な奴らしい先住のくも公の少し下に鐵棒の近くに網をかけた、来た早々から蛾公を引つ取つてうまさうに食ふてゐるのを先住のくも公は羨めしやうに見てゐる。今朝俺は室に居た大きな蛾を捕へて左端から逃がしてやると、前線のくも網を突き破るくも公は驚いて逃げ腰になる上に飛んでこのくも網を打ち破つて飛んで行つた。上のくも公はさうと糸を引い

て下がつて来たから俺は捕へて、前のくも網に上げたその網を渡つて行くと、網宅侵害とばかり新參のくも公は手足を持つてくも網を振る、二匹のくも公はならみ合つてくもあみをふる新參のくも公は勢ひよく突撃して来た、古參のくも公は體を變はして逆襲した。こゝに二匹のくも公は闘争を起した。尻から粘りあみをくり出して戦つた、馬鹿な古參のくも公は遂にクル／＼

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【朝】味噌汁——たま葱 小付 わさび漬

【書】煮付——か、煮がんとどき

【晩】豚カツレツ 清汁——白順干と若芽

とかんじからめに捲きつけられ、身動きも出来なくなつた、新參のくも公は幾日か、つてこの哀れな、馬鹿なくも公を食ふであらう。今後、この新參のくも公と左端のくも公の生活がどう變化するか、また如何に飛躍するかが見ものだ。そして彼等からいへば、このくも公が教へられる。

牢獄生活してゐると待たるゝのは春の彼岸と蟋蟀だ

手尼はしもやけになつて、薄い赤衣に包つたれて如何に春の彼岸を待たれることか彼岸になれば彼岸になればと彼岸になつた時の嬉しさ草の芽は出る、草花の種は蒔かれる、土からは煙りは上る、梅は咲く、菜の花は咲く、櫻は咲く、小鳥は鳴く、かくしてゐるうちに夏になる。牢獄の夏の暑さは牢獄生活したことのない人は解らない。そして待たるゝのは蟋蟀の一聲である。ジツとあの聲を聞いた時は一度に涼しくなる。蟋公の音、蟋公の聲……

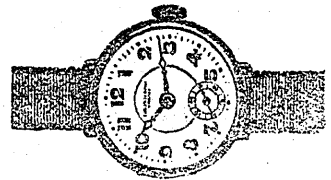
俺の初めてこほろぎを慕

文藝募集

しんだのは界の刑務所に居た時だ。未決中で八月の中旬だと思ふ。運動に出やうとして草履をはくと、そこに一匹のこほろぎが居たから室に投げこんで運動に行きそのまゝ忘れてゐた。その夜、室を掃除しやとして箒を取るとピンと躍ねる。ア—こほろぎと捕へやうとしたがピン／＼と躍ね上る響朝、顔を洗つて水を流すと下水穴に眠つてゐたのかこほろぎはびつくりして飛び出した大洪の中を泳ぎ廻る。

吉例 舊正二日、一日

爆弾的！大賣出し 大景品付



精工舎製九型腕時計…保証付
 金七圓ヨリ七圓五十錢
 掛時計 三十年保証…金四圓ヨリ
 精工舎製目録…
 金壹圓五十錢ヨリ
 子供小判レコード五枚 壹圓
 浪花節大衆盤 一組 金 八十錢

本年は特に日頃の御厚情に報いる爲御客様に本當に喜ばれる景品を山と重ね皆様をお待ちして居ります。當日混み合ひますから商品券御利用を願います。

特約店 金光堂 時計部 蓄音器部
 平町五丁目 電話一九五番

万年筆ならなら
 ハーモニカならなら
 ……責任販賣…

大景品付二重サービス

万年筆美麗金文字御名入

ハーモニカ大懸賞付

舊二日 三日

佐々木商店 電話二三三番

舊二日市景品に就て

一、現金にて御買上の方に景品を差上げます
 一、現金にて商品券御買上の方にも同様景品を差上げます
 一、但し商品券にて品物御買上の場合景品は差上りません
 二、日市の景品は右の通り御實行下さる様希望いたします

平町各商店 御中
 平町御客様 御中
 平 商 工 會

父丸山慶治上京中の處突然罹病藥石効なく去る一月二十日逝去致候間此段御通知申上候

追て葬送の儀は舊正月を遠慮し來る二月九日午後一時自宅出棺當町九品寺に於て佛式により執行可致す候
 昭和十一年一月二十二日
 福島縣平町搔樋小路一番地

男 丸山 喜一郎
 全 丸山 昇一
 親戚 佐々木 健一郎
 丸山 徳次
 大 丸山 徳次
 庫 庫

玉屋洋品店
 平町四町通電話六五六番

さゞれ會献納の

こま犬の威容

縣社々頭に取付終了

元朝参りに初御目見得

今年四十二歳の厄年を迎へる平第一小學校卒業生同窓會のさゞれ會會長諸橋久太郎氏が發起となり町内有志の應援を得て工費六千圓を投じ製作を急いでゐたが青銅製狛犬は此の程竣工したので今廿二日縣社子齋倉神社に献納し取付工事を行つた

回春院長赴任

既報豊間村縣立回春院長に任命された安田善一氏は昨廿二日福島着近く來院する

棄權防止

投票所増設

本郡では四ヶ所の今回の衆議院議員總選舉の投票所は棄權防止の意味から本部では左記四ヶ所に投票所を増設される

江名町 川前村 澤渡三坂組合村 田人組合村

信組プロツク 三町四ヶ村組合 水産工場を

小名濱に専屬工場 二月月上旬操業開始

既報一小名濱信用組合は過般の用組合は過般の總會で決定した本年度事業として附近町材植田、江名渡邊、泉、玉川、鹿島の三町四ヶ村信用組合と共同出資で小名濱町に資本金五萬餘圓の水産加工組合聯合會を組織し三萬圓を投じ水産加工用機械を購入二月上旬

祭は来る廿五日午後一時から關係者多數を招へて盛大に執行する

選挙長官

縣では衆議院議員選舉の爲め第三區選挙長及び郡下の開票管理者を左の如く決定した

△選挙長縣經濟部長迫靜吾 △開票管理者平地方事

罰金が増加

縣議選舉違反で

平檢事局昨年中合計

平檢事局の昨年中の罰金額は一萬五千八百八十圓五十七錢であるがその内訳は

社告

明日及び明後日は舊正月一、二兩日に相當致しますので恒例に依る従業員慰安の爲め休刊しますから御諒承願上します

常磐毎日新聞社

負擔訴訟費用 七二六、九六

で過料の大部分は戸籍届過怠で前年との比較は總額で一千二百五十五圓八十五錢の増加を示しているがこれは昨年九月施行の縣議戰違反

務官乾武、植田縣屬本多角之助、下小川同船競艇治郎

中山訓導披露

平第一小學校は廿二日朝禮の際過般ハルビン小學校へ赴任した佐藤訓導の後任の中山三郎訓導の披露式を行つた

シネマ週報

△平館 朝日世異ニユー スコロンピア全發聲 『鐵腕ジョーンズ』トキ

△漫畫『海賊征伐』日活現代劇『海賊征伐』日活現代劇『海賊征伐』日活現代劇

△世界館 松竹ニユース 新興時代劇全發聲嵐寛壽

△平町人 竹現代劇發聲田中絹代主演『夢うつつ』松竹時代劇

△平町人 林長二郎主演全發聲『雪之丞變化』

男滿男さん 結婚 姻

△東京市澁谷區原宿三丁目三五六太塚金次郎氏(二十九)堤の内一八佐久間ヨシさん(二六)

△奉天市藤浪町三三鹽谷次郎氏(三一)四軒町一五竹尾敏さん(三〇)

△古銀治町三〇大里留次郎氏(五九)

△南町三三室直興氏(九〇)

△播植小路二一松本つささん(五四)

宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

木村外科醫院

平町六丁目橋際 電話三〇九番

福引景品付大賣出し

期間 十五日ヨリ二月十五日迄

放送局認定高級ラヂオ

ベリー二七型四球マツダ真空管付 一臺 二十圓 初回十圓 二四型四球マツダ真空管付 一臺 四十二圓 初回十五圓

五ヶ月月賦

一等：五圓勸業債券 二等：美術置時計 三等：電氣スタンド 四等：自轉車ランプ

常磐電機商工組合員

研町 石田電氣工業所 小名濱町 長山電氣商會 四丁目 磐城工業商會 仲町 松村電氣商會 二丁目 日東商會 警察通り 古山ラヂオ店 白銀町 東光商會 白銀町 藤浪電氣商會 驛前通り 富永ラヂオ店 鎌田町 佐藤電氣商會 三丁目 大谷時計店 新川町 木村電氣商會 土橋 瀧川電機商會

お正月のお楽しみ

娛樂の王座 良く寫る MS カメラ

舊正月二日御買上の御客に限り

左の大景品進呈

- 一、一圓のカメラ御買上の方には 小型種板一打(二十五錢の品)進呈
 - 一、二圓、三圓のカメラ御買上の方には ベスト判種板 打五十錢の品進呈
 - 一、五圓のカメラ御買上の方には 木製上三脚(一圓の品)進呈
 - 一、十圓のカメラ御買上の方には ポツクス皮カメラ用靴(二圓五十錢の品)進呈
 - 一、十二圓のカメラ御買上の方には 特製金屬三段三脚(三圓の品)進呈
- 但し正月二日一日限りです 後は損をしますからやめます

いづみや玩具店

平町

昭和怪談

縊死した若い女の 奇怪? 捜査願

面喰つた係官呆然

意外小名濱派出所警部補の 異動が生んだ超ナンセンス

縊死した若い女の捜査願ひが出た話——本二十三日下午署へ湯本町大字湯本字上川住宅地二號雜貨商榊原富治方同居人北海道足寄郡生工藤フミ子(三)が昨年十一月中突然午前六時頃家出、机の中に北海道根室町字清隆町一ノ四二田中啓太郎から小名濱に居る云々の手紙が来てゐるので或は小名濱に潜伏し居る形跡ありとすると小名濱警部補派出所に出した捜査願が舞ひこんだ、平署が調べ見ると

前記フミ子は昨年十一月廿七日午前六時頃姉と些細の口論したことから逆上、家出して普段から戀愛火遊びが昂じて悪性の性病に患つたのを悲愴した結果湯本町大字湯本字山ノ神地内山林杉林で縊死を遂げ既に検視済みのものと判明

同捜査願ひは小名濱警部補派出所から今回の警部補異動に依り平署へ廻送しなつた爲のナンセンスである

正月餅搗の残火で

七戸全焼す

昨夜萩原炭礦で

廿二日夜十二時半頃好間村大字北好間萩原炭礦坑夫長屋松川彦次方より發火、火は忽ち隣家の松原満長菅野軍治市條豊之助方及び隣長屋の川崎信一、湯原留治、丹波枝の二棟七戸を全焼午前一時半頃鎮火したが損害約千圓、原因は松川彦次方で舊正月の餅を搗いた残火の

不始末からであると

本郡新壯丁

本郡昭和十一年度壯丁人員は千九百七十八名で昨年より九十名の減少を見た

男女工募集

錦村昭和八絹會社では近く

今曉平町に變死体

人騒がせな凍死

一時は重大視した平署が他殺とらんで現場に急行

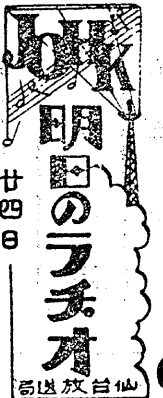
本廿二日午前七時頃飯野村より平町警城中學校への登校の一中學生が平町新田前片倉製糸會社南方約五百米附近地先縣道通行中同地内新田橋より十二、三米西よりの縣道に添つた用水路に黒外套を着た遠藤將乞貧体の變死體あるを發見届けたので平署は同所は平、小名濱の自動車交通頻繁の縣道であり最近頻發した自動車轢き逃げ事件を時節柄聯想、或は喧嘩の他殺かと思件を重大視し同四十分柴田署長、柴司法主任、渡邊温部長等が自動車で現場に急行、検視したが

同死體は用水路中に横向きに倒れ、身長約五尺、右腕、桃の刺青あり、木綿引にガム靴をはき、木綿の單衣四枚を重着した上に黒い外套を着た推定年齢五十七、八歳の男であるが

昨夜平町で

花賭博手入れ

昨廿二日午後七時頃平町町無職金成トモミ(三)方同町月見町大塚欽一郎(三)白銀町肉商長谷川磯五郎



天 今晩は晴明日も同様

今晩の部
後六、〇〇 子供の時間
お話し「グライダー」増田正文
後六、二五 農家の時間
「副業美談を語る」五十子卷三他
△國境警備慰問の夕
後七、三〇 第一線の人々への挨拶 丸山鶴吉
後七、四〇 歌謡曲 美ち奴(京城より)
後七、五五 「挨拶」大竹平
△年齢問はず △食費一日男二十錢女十五錢△寄宿舎の設備あり

明日の部
前七、〇〇 現代話講座
△新川町商會藤田伊之助(四九)古鍛冶町興業師會澤藤平(三九)男女五名が車座になつて花賭博帳し居るを平署員が探知、一網打盡逮捕した

「新しい語法の解説」市川寛
前七、三〇 朝の修養「鳩翁道話」五乙竹岩藏
前八、〇〇 小鳥の啼聲
前九、〇〇 家庭メモ
前一一、〇〇 婦人講座
「手紙の書き方」四 木枝増一
後〇、〇〇 五 箏曲と新日本音楽「一 箏曲」近江八景
奥田佐登久他 二 新日本音楽「初鶯」鳴原松園他
後二、〇〇 家庭講座「茶道の精神」小島專甫
後二、四〇 小學尋六の時問 國語「帝國議會の話」前田多門
後三、一〇 教師の時間
組合樓上に廿六日開く

舊正二日の雑沓を

平署事故防止

市内から姿を消す自動車 乗合發着場所も一時變更

平署は舊正月二日は例年近郷よりの出入多數を見て難査し混雑するを見こして自動車事故の頻發する事實に鑑み當日は午前七時より午後四時までの間管内乗合自動車業者に對して左の如く發着場所を一時變更して事故防止を圖ることになつた

平區檢事局

衆議員議員總選舉を控えた平區裁判所檢事局は期日切迫の多忙を見こして例年來月上旬提出の各種年表類の提出を急ぎ連日十二時近くまで夜業を續け大童の活躍をしてゐる

南洋事情講演

目下歸省中の南洋パラオ支廳農林技師若松貞二氏は廿三日午後二時より母校である湯本小學校で南洋事情講演を行つた

江名信組總會

江名濱信用販賣購買利用組合總

氷滑りに

學校から注意

連日の嚴寒にスツカリ張りつめた松ヶ岡辨天池、櫻ヶ丘櫻堀の氷上にはスケートをつけた中學生及び小學生が多數遊んでゐるので萬一を慮り平第一小學校では廿二日危険であるから絶対に止めるやうに注意したが各家庭でも注意されたいと



瓦解の設計

悟道軒圓玉(作)
丸尾至陽(畫)

三二 外國の金貨

長「へエ、ばくちに取られまして、一文なしになりましてそれから金算段をするつもりで花さんのところへ行きました」

武「まあ待て、花さんとはかりでは判らねえ、それは何者だ」

長「その事は何んでございませう、こゝに居るこの女に聞くと判ります、私は只花さんとばかり覚えて居ります」

武「貴様は馬鹿だな、大分抜けてゐるな」

長「へエ、友達は私のことを馬鹿長と申します、有難いことに大分名を賣りましたよ」

武「成る程こいつは馬鹿長だこれ女貴様の主人は何者だ」

と問はれておかねがかね「私の御主人はお花さんと申しまして、もとはお妾でございますよ」
これを聞くと土井はしばらく考へてゐたが
土「何だと、以前お妾であつたとウムさうか」
かね「旦那さんが歿なつてからこの濱町河岸に引きうつりまして、私と二人暮

らして居ります」
土「さうか、これ長六、主人は今夜不在だとのことだが、その不在中に誰を目的に金を借りに行つた」
長「それは何んでございませう」



「ございます」
土「屋根から入つたと、屋根には入口はないはずだが屋根のどこから入つた」
長「それは引窓から入りました」
土「途方もない奴だ、しまりのあるところをこちあけて入るは賊だぞ」
長「そんなことは私には判りませう、引窓から入りまして奥へ行きますと床が取つて蚊帳が吊つてありまして、人は居りませう、それで私も困りましたよ金を貸して呉れる人は不在、と

す、ねえさんのところへ金を借に行きました不在でございます。へエまだ向島から歸りませう、そこで私は歸るまで待つことにしました、外に居ることには出来ませんそれから屋根へ上つて内へ入りましてご

言つて何時歸つて来るかそれは判りませう、ぼんやり待つてゐることも出来ずそれで何でございませう、文庫から革財布を出しまして黙つて借りる事にいたしました、へエ」
武「こいついよく馬鹿

者だな、馬鹿も質がよくないその財布を何うした」
長「それはふところへ捻ぢ込みまして、それから酒を一杯飲みますと大層酔ひが出来ましてそれで蚊帳の中に入つて一寝入りました」
土「寝たか、のんきな奴だな」
長「一寝入るとこの女に起されまして泥棒だと云はれました、他のことゝは違ひます、泥棒といはれては勘辨が出来ませう、それから組打になりました川に落ちました、するとこの女が水が達者で私はひどい目にあひましたよ」
土「これ女、貴様の名は何といふ」
かね「おかねと申します」
武「長六の申したことに偽りはないか」
かね「その通りでございます、私は不在をあづかつて居りますから泥棒を目の前に見ましては助けて置くことは出来ませう」
武「それは感心だな、主人のために賊を押へたは男まさりの立派な働きだ、これ長六、その革財布は何うした」
長「それはこゝにございませう」
と下帯にはさみつけた財布をそれへズルと引き出したこれは長六が水に落ちた時に失はぬやうにと紐で下帯にくくして置いた、土井はそれを取り上げて金を調べてゐたが中から圓い金が出た
土「これは外國の金貨だな

これおかね、汝の主人は異人の知己があるか」
かね「ハイ、もとは異人さんのお妾でございました」
これを聞くと土井といふこの武家の目がざらりと光つた。

平町吳服商組合

一年中の御禮として 安賣と大競争
良品大廉賣 各店競ふて 大景品の山

吉例 一日市初賣

商品券

当日は例年に倍し賑々しく御来店の上御用命を御待ちいたします

- 組合加盟店
- 伊關 吳服店(平 二丁目)
 - 小野 榮吳服店(平 四丁目)
 - 渡邊 吳服店(平 十橋)
 - 川 又 商 店(平 白銀町)
 - 吉田 屋吳服店(平 鍛冶町)
 - 谷屋 吳服店(平 新川町)
 - 松屋 吳服店(平 播磨小路)
 - 安積 屋吳服店(平 古鍛冶町)
 - 北川 吳服店(平 研町通り)
 - 三井 吳服店(平 三丁目)
 - 諸橋 吳服店(平 新川町)
 - 仙臺 屋吳服店(平 一丁目)

改築記念

舊正月 初賣出し
三隣煉炭會社特約店
鹽鮭・木炭 乾物類
市原商店
煉炭★木炭大廉賣
平町一丁目 電話二四四

石炭
コークス
豆炭
阿部石炭店
電話三十七番

一冊の代金で 御希望通りな
五冊の雑誌が 自由に讀める
川崎 文庫
電話六三〇番
(申込次第規則書進呈)